

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 旭区

学 校 名 太子橋小学校

学校長名 栗山 功

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・太子橋小学校では、第6学年66名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語科、算数科とも大阪市の平均を上回っていた。算数科では0.6ポイント全国平均を上回った。平均無解答率は国語科、算数科とも全国平均を下回っていた。領域別では、国語科の「読むこと」が全国平均を5.1ポイント上回っていたが、「話すこと・聞くこと」では、8.8ポイント、「書くこと」では、2.5ポイント全国平均を下回っていた。算数科では、「データの活用」では、全国平均を3ポイント上回っていたが、残りの「数と計算」「図形」「変化と関係」では、少しずつ全国平均を下回っていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「読むこと」において全国平均を5.1ポイント上回ることができたのは、「主体的・対話的で深い学び」に向けて、「読むこと」を通して、自分の思いを表現できるよう努めてきた結果と考えられる。一方、「話すこと・聞くこと」で全国平均を下回っている。これは、自分の思いはもっているものの、筋道立てて自分の考えを話すことに課題があると考えられる。一人一人が自分の思いを話すことができるような交流の場における指導の工夫を今後も続けていきたい。

〔算数〕「変化と関係」以外の「数と計算」「図形」「データの活用」の3領域では、大阪市の平均を上回った。「データの活用」では、全国平均を上回った。今後も引き続き、基礎・基本の定着に向けて、本校で取り組んでいる自主学習ノートの活用に加え、ICTのさらなる活用も踏まえた取り組みを続けていきたい。

質問調査より

「自分には、よいところがありますか」という質問に対して、肯定的な回答をする児童は全国平均を上回った。しかし、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対する肯定的な回答は大阪市平均・全国平均を下回っていた。今後も本校においてキャリア教育や縦割り班活動などを進め、「自分が他者に対して役に立っている」という自己有用感を高めていきたいと考える。「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対しては、国語科・算数科とも大阪市平均・全国平均を上回っている。授業において概ね積極的に取り組み、学習内容を理解していると考えられる。

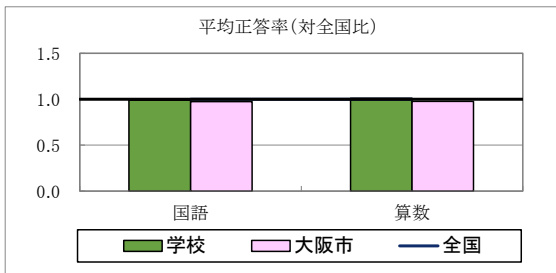
今後の取組(アクションプラン)

「チーム太子橋」として全教職員で課題を共通理解し、同じ思いをもって、きめ細かい丁寧な教科指導を今後も行っていく。どの教科においても「主体的・対話的で深い学び」の構築に向けて話し合いによって、自分の考えを広げたり、深めたりできるような活動を意図的に取り入れていく。引き続き、自主学習ノートやICTの活用を進め、基礎・基本の定着、自ら学び続ける態度を育てていく。また、自尊感情を高めるために、学級活動や特別活動などの通して、達成感や成就感を味わう場を増やしていくとともに、互いの違いを認め合える集団作りを行う。全教職員が力を合わせ、「確かな学力」と「豊かな人間性」を兼ね備えたバランスの取れた子どもたちを育てていく。

【 全体の概要 】

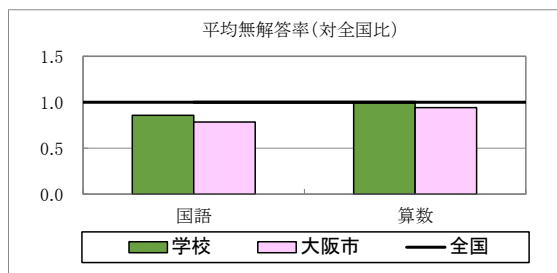
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67	64
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.6	3.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



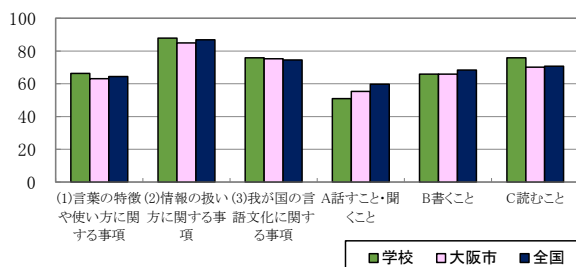
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	66.3	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	87.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	75.8	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	51.0	55.3	59.8
B 書くこと	2	65.9	65.9	68.4
C 読むこと	3	75.8	70.1	70.7

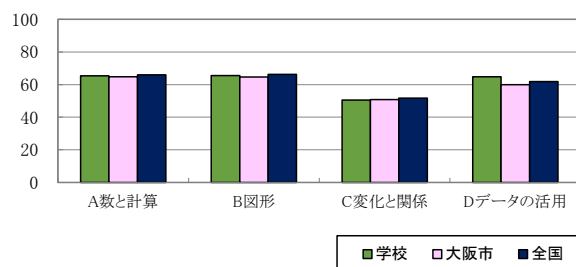
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	65.4	64.8	66.0
B 図形	4	65.5	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	50.5	50.8	51.7
D データの活用	4	64.8	60.0	61.8

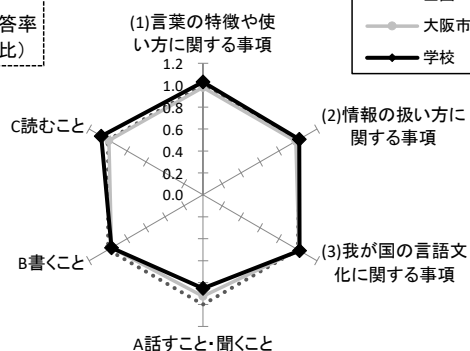
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



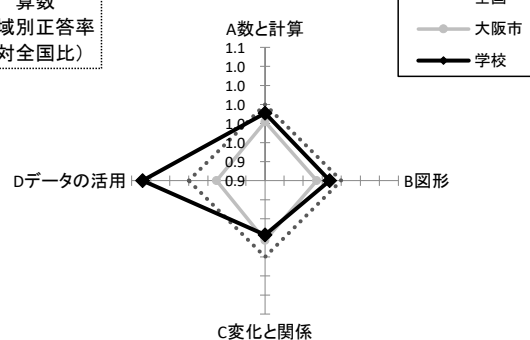
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

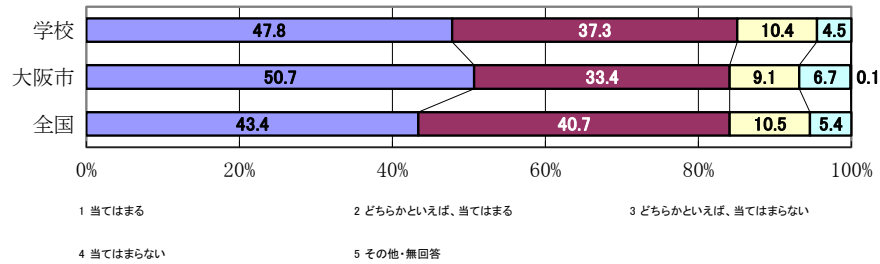
質問番号

質問事項

9

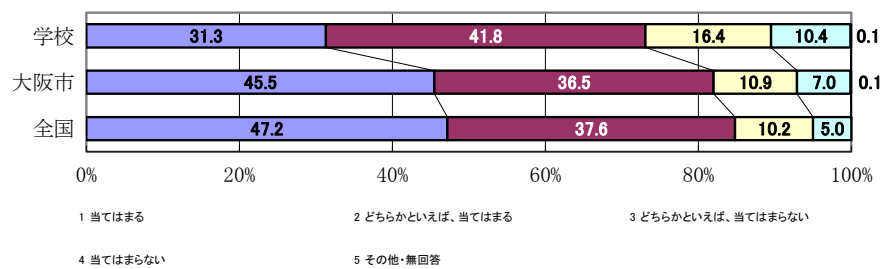
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



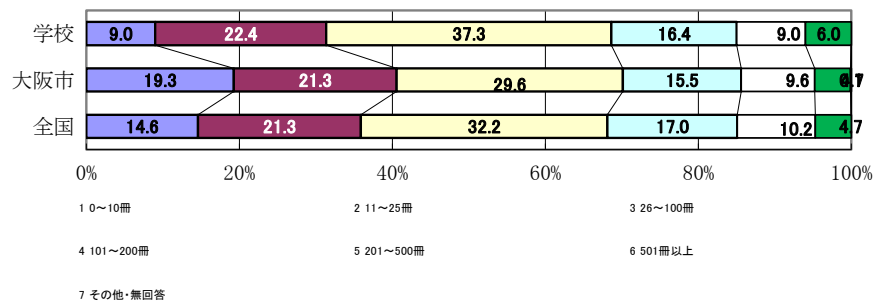
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



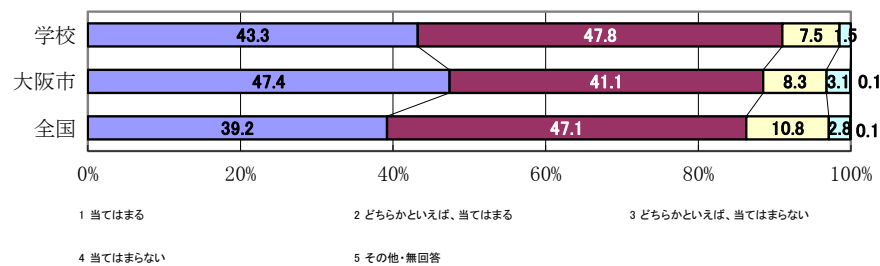
23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



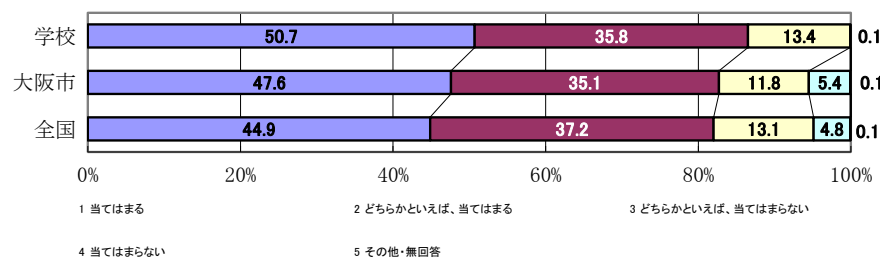
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



52

算数の授業の内容はよく分かりますか



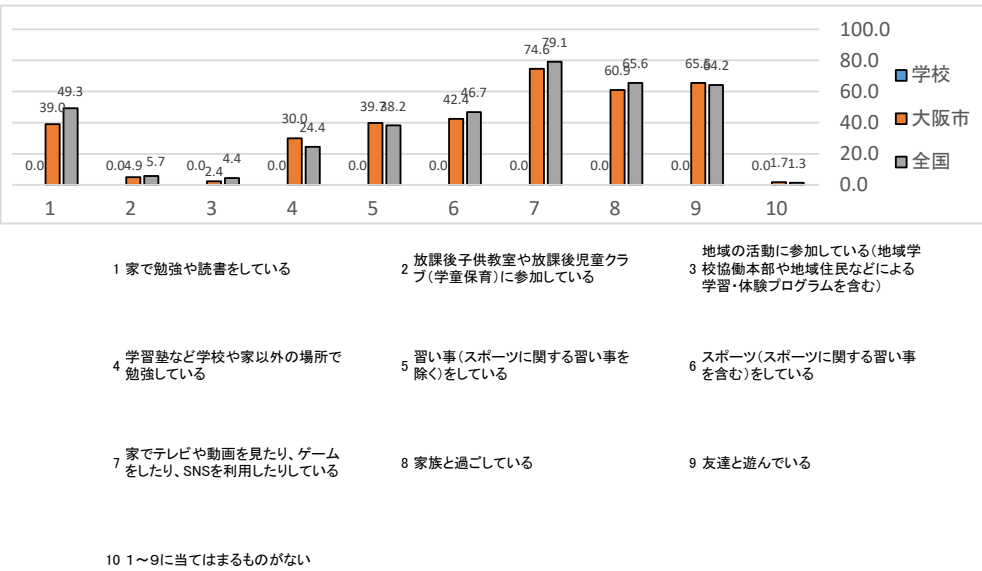
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

質問番号

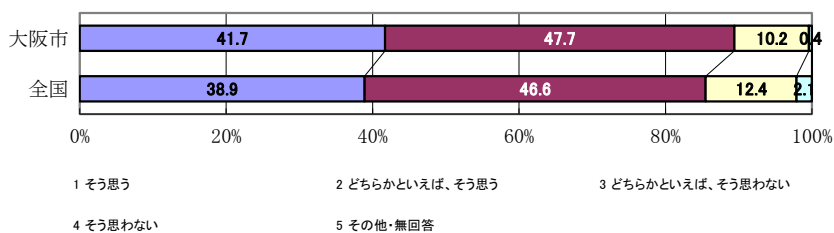
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



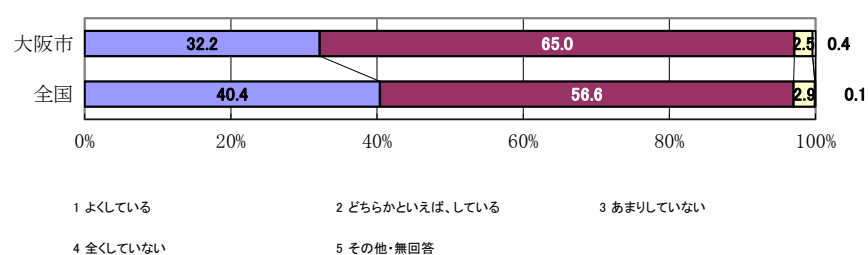
学校 「そう思う」を選択



13

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

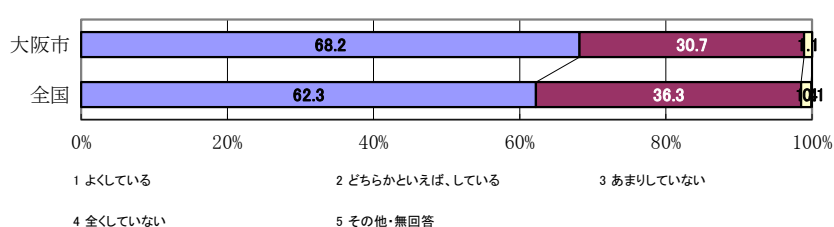
学校 「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

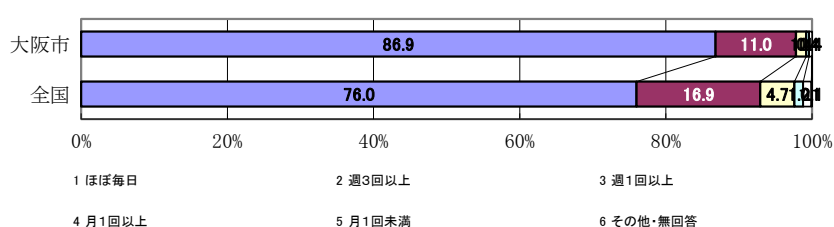
学校 「よくしている」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「週3回以上」を選択



学校 「」を選択

